

⚠ 注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。  
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW26

# 介護実習モデル “ケイコ”

## 取扱説明書



## 目 次

- はじめに  
製品の特長とご使用上の注意 ..... P.1
- ご使用の前に  
セット内容 ..... P.2
- 実習の準備  
モデル本体の組立 ..... P.3-P.4  
患者の設定 ..... P.5-P.7
- 実 習  
体位変換・移動の介助・寝衣交換・体 ..... P.8-P.9  
位ドレナージ・全身清拭・  
部分浴(手・足)・洗髪 ..... P.10  
口腔ケア ..... P.11  
口腔ケア・褥創ケア ..... P.12  
陰部洗浄・排泄援助(導尿) ..... P.13-P.14  
排泄援助(導尿・浣腸) ..... P.15  
経管栄養(経鼻・経口・胃ろう) ..... P.16-P.17  
吸引(経鼻・経口・気管切開部) ..... P.18  
吸引・ストーマケア ..... P.19  
直腸内与薬・酸素吸引 ..... P.20  
CVポート留置時のケア・死後のケア ..... P.21
- 後片付け  
モデル本体の分解・収納箱への収納方法 ..... P.22  
収納箱への収納方法 ..... P.22

動画サイト



日本語サイト

## はじめに

この度は当社の「介護実習モデル “ケイコ”」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、日常生活援助に必要な基本的なケアの実習から、今後介護の現場で求められるチーム医療  
や医療的ケアの実習まで、コミュニケーションも含め総合的に習得できるモデルです。より「質の高い」  
介護への教育用実習教材としてご使用ください。

## 必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外での  
ご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

## 特 長

- 要介護者への日常生活援助を看取りまでを含めて充実しました。  
口腔ケア・褥瘡ケア・体位変換・陰部洗浄
- 医療的ケアでは、模擬痰を使った口腔内吸引の実習や、気管切開部・鼻腔内吸引と経管栄養の手順を  
解剖も含め確認できます。安楽な体位やケアに必要な物品の配置、コミュニケーションなど実際に  
即した実習ができます。
- 施設や在宅で医療処置を受ける高齢者へのケアを習得できます。
- 多職種連携の情報共有に必要な医療的知識を深めることができます。
- 高齢者に多い膝の曲がりや手足の皮膚のたるみを自然に近い形で再現。独立して座位をとることが  
できます。高齢者に配慮した日常生活援助技術の習得につながります。
- かつらの取り外しと性交交換で、男性・女性高齢者を設定した実習をすることができます。
- 腰部で上半身と下半身を分けることができ、持ち運びがよりしやすくなりました。

## ⚠ 注意

## ● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝  
撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の  
脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますの  
で十分ご注意ください。

## ● 印刷物をモデル表面に置かないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして  
ください。  
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

## ● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管  
は避けてください。変形や故障の原因となります。

● 中性洗剤又はウェットティッシュで拭き  
取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤、ウェットティッシュで  
拭き、ベビーパウダーを塗布してください。シンナーやア  
ルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

● ボールペンやサインペンで書き込まないで  
ください。

サインペン、ボールペンなどでモデルやドレッシング  
材、テープに書き込むとインクが吸収されて消えなく  
なります。

## ● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することが  
ありますが、ご使用には差し支えありません。

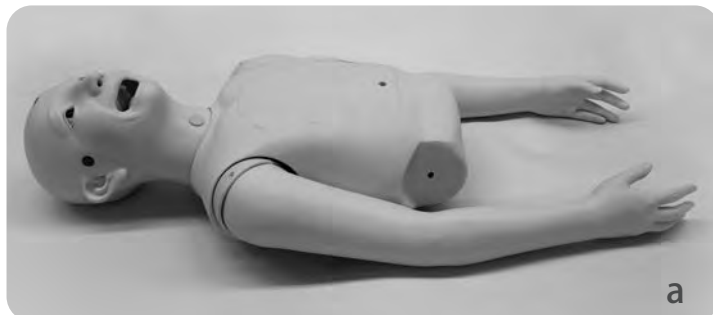
## ● モデル表面にテープを貼ったままの状態でご片付けしないでください。

長時間貼ったままの状態にすると、モデルの表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきが取れなくなります。  
この場合は、ガムテープをテープの粘着剤が残っている箇所に何回か貼付を繰り返すと取れやすくなります。

## セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。

### ● モデル本体



#### 上半身

頭部  
義眼・まぶた  
気管切開栓  
胸部  
胸蓋  
腕



#### 下半身

腹部  
人工肛門  
女性性器ユニット  
性器部  
止水栓 (2 点)  
直腸部ボトル  
脚

#### 女性性器ユニット



### ● 付属部品



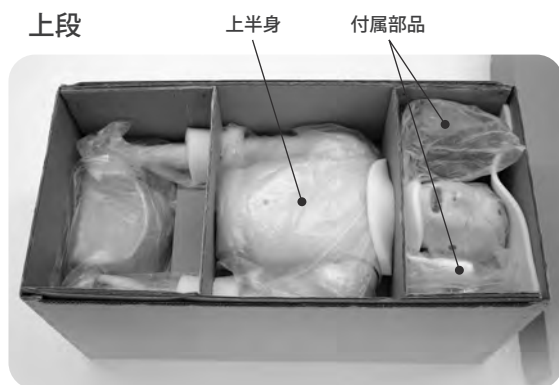
- a. モデル本体 (上半身) ..... 1 体
- b. モデル本体 (下半身) ..... 1 体
- c. かつら ..... 1 点
- d. 義歯 (上下) ..... 1 式
- e. 口腔カバー ..... 1 点

- f. 男性性器ユニット (直腸部ボトル付) ..... 1 点
- g. 下着 ..... 1 点
- h. 組立部品 (ボルト・ナット・座金・スパナ) ..... 1 式
- i. トレーニングモデル用潤滑剤 ..... 1 点
- j. 潤滑剤 (導尿・浣腸他用) ..... 1 点

取扱説明書

## ① 収納箱からの取り出し

1. 箱の中から物品を取り出します。スペースが広い場所で作業を行ってください。上段にある仕切りを取り外した後、上半身と付属部品（かつら、義歯、口腔カバー、男性性器ユニット、下着、組立部品一式、潤滑剤 2 種）を取り出してください。



2. 段ボール板の下に下半身があります。仕切りを取り外してから下半身を取り出してください。

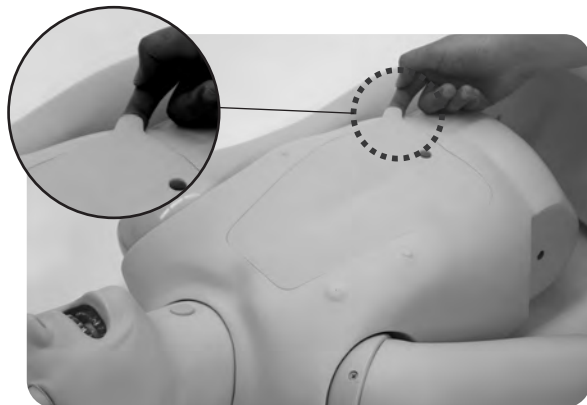


.....  
モデル本体を移動する時は、身体全体を  
抱えて、丁寧に行ってください。  
梱包材は捨てないでください。



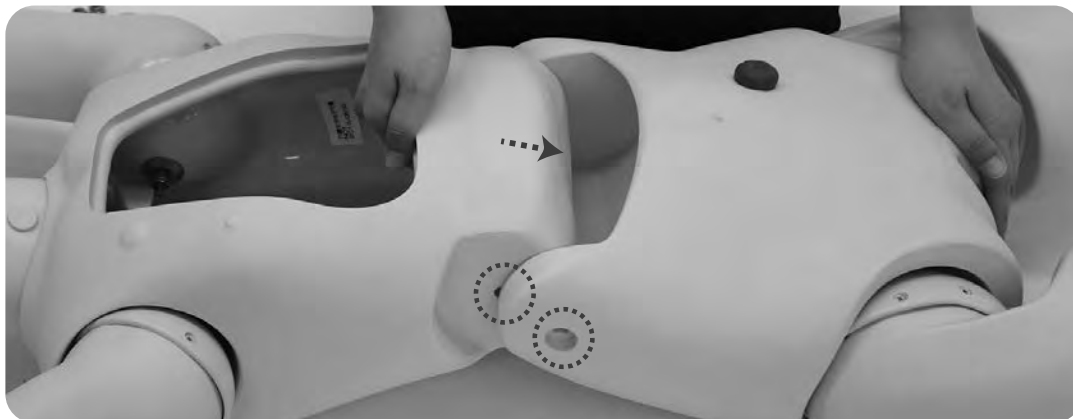
## ② モデル本体の組立

1. 上半身と下半身を組み合わせます。  
① 胸蓋の手がかり部を持ち上げながら胸蓋を取り外します。

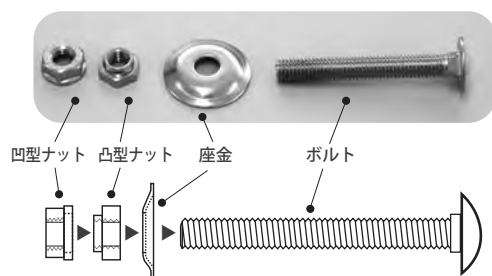


## ② モデル本体の組立

- ② 両腕を上げた状態にして、腰部で上半身と下半身を組み合わせてください。  
組み合わせ部の左右にある穴が重なる位置まで胸側を腰に差し込みます。



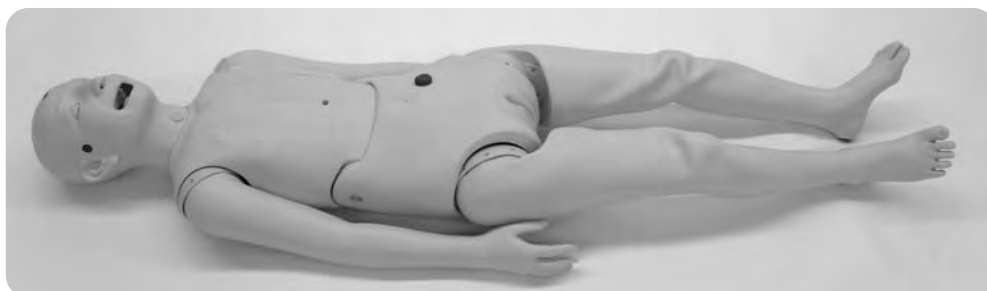
2. ボディの穴に外側からボルトを奥まで差し込み、ボディの内側から座金をボルトにはめ、2種類のナットで固定します。凸型ナットを手で奥までねじ込んだ後、凹型ナットをねじ込み、最後に凹型ナットをスパナで締め付けます。ナットとボルトが一緒に回ったら締め付けをやめてください。



● 組み付け完了



.....  
スパナでナットを締めすぎないでください。  
締めすぎると、ボディのねじ穴部が破損する  
恐れがあります。





### 1 患者の設定

かつらの取り付け・取り外し、性器ユニットの交換で、異なる患者を想定した想定の実習が行えます。



### 2 かつらの取り付け・取り外し

かつらは額（ひたい）中央、左右耳の前の計3か所のマグネットで固定します。  
かつらの向きはマグネットが付いている側が前になります。

《かつらの取り付け》

- ① 頭部とかつらの向きを合わせ、かつらをかぶせてから、額（ひたい）中央部のマグネットで固定してください。
- ② 左右は両耳の前にあるマグネットで固定してください。



- ③ かつらの後ろにあるすそを軽く引きおろし、頭部の形状に沿わせてください。



- ④ 取り付けが完了です。



## 2 かつらの取り付け・取り外し

### 《かつらの取り外し》

- ① 耳の前のマグネットをはずしてください。
- ② 額（ひたい）中央部のマグネットをはずし、マグネットを浮かせたまま後方へずらして外してください。



### 《かつらの手入れ》

下記の手順で保管してください。

- ① 使用後は丁寧にブラッシングします。
- ② 型崩れしないようにかつらの中に紙を詰めます。
- ③ 毛先に癖がつかないようにリノ字になるようにまとめます。
- ④ かつらを袋に入れて保管します。

## 3 男女性器部の交換

### 1. 女性性器ユニットの取り外し

- ① 性器部の皮膚を押さえながら、隙間に指を差込み、性器部上部を腰部からはずします。
- ② 両手で性器部皮膚を持ちながら、性器部を上へスライドさせ腰部から取り外します。



### ③ 男女性器部の交換

#### 2. 直腸部ボトルの確認

男性性器ユニットには、あらかじめ直腸部ボトルが取り付けられています。ボトルの取り付けはネジ式になっているので、しっかり固定されているか確認してください。



#### 3. 男性性器ユニットの取り付け

① 性器部下部のツバを合わせながら、下方方向にスライドさせます。



② 性器部中央の突起部（左右）を腰部の中にはめ込みます。



③ 性器部上部のツバを腰部の中にはめ込みます。





## 1 体位変換・移動の介助・寝衣交換・体位ドレナージ

モデルは柔らかく関節部は自然な可動域を備えています。介助に必要なコミュニケーションをとりながらケアに合わせて体位の確保が可能です。



注意

服を長期間着用する場合は、別売品のパジャマをご使用ください。  
市販の寝衣を使用される場合は、長期間の着用は避けてください。またモデルへの色移りの恐れがあるため、できるだけ色移りのしにくいものをお選びください。  
サイズは身長 150 cm、M サイズのものをご使用ください。

## 2 全身清拭・部分浴(手・足)

全身清拭や手浴、足浴を実際に行うように実習できます。  
皮膚表面に肌感を表現しており、清拭時などタオルの使用時も実感のある実習が可能です。  
※ 全身入浴実習はできません。



## 3 洗 髪

洗髪実習では、別売の洗髪実習用かつらをお求めください。洗髪用のかつらは、人工毛（ポリエステル素材の耐熱ファイバー）を使用しているので、実際にシャンプー・リンス・ブラシ・ドライヤーを用いた洗髪実習ができます。

### 《かつらの取り付け》

P.5 かつらの取り付けを参照。

### 《かつらの取り外し》

P.6 かつらの取り外しを参照。

### 《かつらの手入れ》

かつらは実習使用後、水分がついた状態で放置すると髪が絡まり固まる恐れがあります。  
下記の手順で手入れを行ってください。

- ① 洗髪実習後乾燥させてください。それから再びブラッシングしてください。乾燥後、市販のシリコンスプレーをかけるといっそう絡まりを防ぐことができます。
- ② かつらは取り外して保管してください。



注意

.....  
強いブラッシングは抜け毛の原因となりますのでお控えください。シャンプー液はご使用後すぐに洗い流してください。  
直射日光に当たる所や暖房機器のそば、車内など温度の高くなる場所に放置しないでください。

## 1 口腔ケア

口腔ケアでは、一部介助や全介助の人に合わせた体位の取り方なども含めて実習できます。

- ・ブラッシング介助（義歯をはずした状態または口腔カバーを取り付けた状態）
- ・口腔マッサージ（義歯および口腔カバーは取り付けていない状態）
- ・入れ歯のケア（義歯を利用）
- ・利用者の個別状況に応じたケア（経管栄養カテーテル実施時等）などが実習できます。

※口腔ケアでは、付属の口腔カバーを手を持ち、ブラッシングの手順やポイントの説明ができます。  
また吸引スポンジを使用した口腔内清掃実習では、口腔カバーを取り付け、実習時に口腔カバー内に水を少量ずつ入れてください。

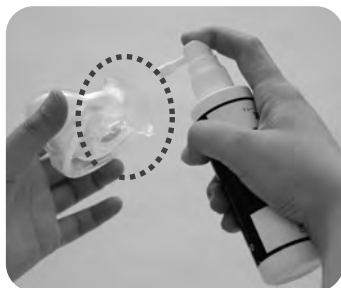


注意

水等を使用する場合は、必ず口腔内に口腔カバーを取り付けて実習を行ってください。誤って口腔カバーを取り付けずに水等を使用した場合は、モデル本体内に水分が入ってしまう可能性があります。その場合はボディの胸蓋を開け、内部の水分を布等で拭き取り、十分乾燥させてください。

### 《口腔カバーの取り付け》

- ① 喉頭部側にトレーニングモデル用潤滑剤を塗布。  
( 楕円の範囲 )
- ② カバーを二つ折りにして、口を少し開けて、口腔内に挿入。
- ③ カバーを指で広げ、口腔内にフィットさせてください。



注意

口腔カバーの取り付けは、義歯が取り付けられていないことを確認後、実習の5分ほど前に行ってください。直前に取り付けたと、トレーニングモデル用潤滑剤の油分で、口腔カバーが外れる場合があります。

## 1 口腔ケア

### 《口腔カバーの取り外し》

- ① 口腔カバーの上下を指で摘み、やさしく取り外してください。

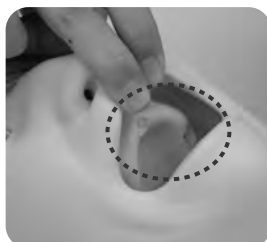


注意

口腔カバーは取り外し後、石鹼や中性洗剤できれいに洗ってください。洗った後、十分乾かしてから高温多湿を避けて保管してください。

### 《義歯の取り付け》

上下の歯ぐき部分にそれぞれ2箇所穴と、義歯側にそれぞれ2本のピンが取り付けられています。義歯の取り付けは、穴とピンの位置を合わせて取り付けます。



### 《義歯の取り外し》

下の歯は前歯をつまんで後歯側を上にあげるように、上の歯は前歯をつまんで後歯側を下に下げるようにしてはってください。

## 2 褥瘡ケア

褥瘡が発生しやすい部位や分類（大きさ・深さ・色調）の理解、褥瘡がある人への日常生活援助を実習することができます。

褥瘡ケアの方法を、洗浄やドレッシング材の貼付も含めて学ぶことができます。

- ・ポジショニング
- ・褥瘡部のケア
- ・おむつ交換 など



注意

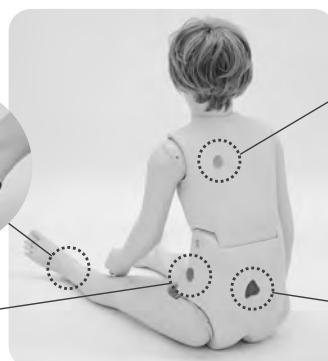
洗浄実習を行う場合は、生理食塩水の代わりに水をご使用ください。



踵部  
判定不能



大転子  
ステージⅢ



肩甲骨  
ステージⅡ

仙骨  
ステージⅣ

## 1 陰部洗浄

汚れが溜まりやすい箇所を洗うことができ※、羞恥心を配慮した実習が可能です。

※男性：亀頭・包皮 女性：大陰唇

更衣、陰部洗浄、おむつ交換の一連の流れで実習が可能です。



### 《準備》

性器ユニットに直腸部ボトルがしっかり取り付けられているか確認してください。女性での実習の場合は、止水栓2か所取り付けられているか確認してください。微温湯で陰部を洗い流す実習の際、止水栓で尿道口や膣からモデル内部に水が流れ込むことを防ぎます。

恥骨から両鼠径部に沿って長く折り畳んだタオルを置き、実習を行ってください。



### 《後片付け》

性器ユニットを本体からはずし、直腸部ボトルを性器部からはずしてください。

性器部や直腸部ボトルに残った水分を洗い流してください。

洗浄後は十分乾燥させ、直腸部ボトルを性器部に取り付け、保管してください。

脚の関節部がぬれていたら、乾いたタオルで水分をよく拭きとり、十分乾燥させてください。

## 2 排泄援助(導尿)

体位の保持、カテーテルの挿入・留置と留置している人への日常生活援助、自己導尿カテーテルの準備と体位保持の実習が可能です。





## 2 排泄援助（導尿）

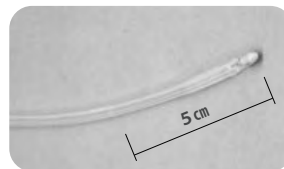
### 《準備》

1. 女性を想定した演習の場合は、女性性器ユニットを本体から外し、裏側の尿道口と膣部の止水栓を取り外してください。膣へのカテーテル挿入が医療事故につながることを説明できます。



2. 潤滑剤をカテーテルに塗布

トレー等に付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）を少量垂らし、カテーテルの先端約5cmを目安に塗布します。  
必ず指定（付属）の潤滑剤をお使いください。



.....  
カテーテルは、膀胱留置カテーテル：女性は14Fr、男性は16Fr、自己導尿カテーテルは8～12Frを使用してください。  
潤滑剤は付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。  
消毒の実習を行う場合は消毒薬の代わりに水をご使用ください。

### 《後片付け》

実習終了後は、カテーテルを取り外してください。女性の場合は、女性性器部を本体から取り外し、潤滑剤を中性洗剤等で洗い流してください。充分乾燥させた後、裏側から止水栓を取りつけ、保管してください。

男性の場合は、尿道口部や性器部皮膚に潤滑剤が付着した場合は、ティッシュ等で潤滑剤を拭き取ってください。尿道口部の内側は中性洗剤等で洗い流し、充分乾燥させた後、保管してください。



### 3 排泄援助（浣腸）

体位の保持、浣腸液の注入実習が可能です。

浣腸器具には付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）を塗布してください。



#### 《準備》

性器部から直腸部ボトルを取り外し、液漏れを防ぐためティッシュを6枚重ねて折りたたみ、ボトル内に入れてください。改めて性器部に付け、モデル本体に取り付け実習を行ってください。実習は30mL浣腸液を使用し、1回毎にティッシュを交換してください。



#### 《後片付け》

直腸部ボトルからティッシュを取出し、性器部や直腸部ボトルに残った汚れを中性洗剤等で洗い流してください。

洗浄後は十分に乾燥させ、直腸部ボトルを性器部に取り付け、保管してください。



.....  
潤滑剤は付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

## ① 経管栄養（経鼻・経口・胃ろう）

安楽な体位やコミュニケーションを取りながら、鼻腔や口腔・胃ろうにカテーテルを挿入し、テープ固定をして、栄養剤注入の手順確認ができます。栄養剤や微温湯は投与できません。



胸蓋に胃ろうカテーテルを取り付けてから蓋を外し、体内で固定されている様子を説明できます。  
また、胃ろう周囲を清拭する、胃ろうケアの実習も可能です。

### 《準備》

カテーテルと鼻腔にトレーニングモデル用潤滑剤を塗布し、顎をひいた姿勢でカテーテルを挿入してください。潤滑剤の塗布が不十分だと挿入が困難になります。

腹部にあいている穴に胃ろうカテーテルを取り付けます。シリンジをカテーテルのバルブに差し込み、バルーン内に空気を入れてください。

### 《後片付け》

カテーテルを取り外してください。固定した胃ろうカテーテルは、シリンジでバルーン内の空気を抜き取り、取り外してください。  
使用したテープは、必ずはがしてください。



注意

.....  
栄養カテーテルは 12 ～ 14Fr、胃ろうカテーテルは 20Fr を使用してください。  
潤滑剤は付属のトレーニングモデル用潤滑剤をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

## ① 吸引（経鼻・経口・気管切開部）

口腔内吸引を実施するときは、口腔カバーを装着すると実際に模擬痰（水等の液体）を吸引することができます。別売の模擬痰をご使用いただくと、より臨場感のある実習が行えます。



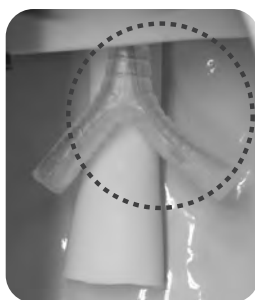
注意

.....  
鼻腔内や気管切開部内には模擬痰を入れないでください。

口腔カバーを取り付けていない状態で、口腔内に模擬痰を入れないでください。

気管切開チューブへのカテーテル挿入実習では、胸蓋を外すと、カテーテルを深く挿入することで気管支に到達することを確認できます。

気管切開部のガーゼ交換や、気管切開チューブの清拭も実習できます。



### 《準備》

#### 1. 口腔カバーの取り付け

① 喉頭部側にトレーニングモデル用潤滑剤を塗布。  
（楕円の範囲）

② カバーを二つ折りにして、口を少し開け、口腔内に挿入。

③ カバーを指で広げ、口腔内にフィットさせてください。



#### 2. 模擬痰の注入



10 ccシリンジに模擬痰を注入し、口腔カバー内に少量ずつ入れてください。



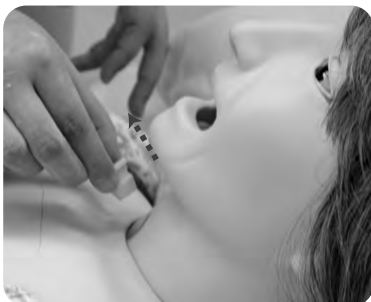
注意

.....  
口腔カバーの取り付けは、義歯が取り付けられていない事を確認後行ってください。

## 1 吸引（経鼻・経口・気管切開部）

### 3. 気管切開チューブの取り付け

- ① 気管切開栓を取り外します。
- ② 気管切開内にトレーニングモデル用潤滑剤を塗布し、気管切開チューブを気管切開の穴に挿入します。
- ③ 気管切開チューブを紐で固定します。



※ 気管切開部は穴を開けた構造のため、お手持ちの気管切開チューブ等を挿入された場合、上手く装着できないことがあります。使用するチューブは「12746-020 気管切開チューブⅡ」を推奨いたします。

#### 「12746-020 気管切開チューブⅡ」の特長

気管切開チューブ内の吸引実習を想定して、予めチューブの先端にキャップを取り付けています。  
そのため、チューブ内に模擬痰を入れて、実際に吸引を行う実習が可能です。



### 《後片付け》

#### 1. 口腔カバーの取り外し

- ① 口腔カバーの上下を指で摘み、やさしく取り外してください。



注意

.....  
口腔カバーの取り付けは、実習の5分ほど前に行ってください。直前に取り付けると、トレーニングモデル用潤滑剤の油分で、口腔カバーが外れる場合があります。

口腔カバーは取り外し後、石鹸や中性洗剤できれいに洗ってください。洗った後、十分乾かしてから高温多湿を避けて保管してください。



## 1 吸引（経鼻・経口・気管切開部）

### 2. 気管切開チューブの取り外し

① 気管切開チューブを取り外してください。

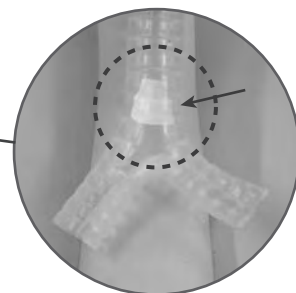
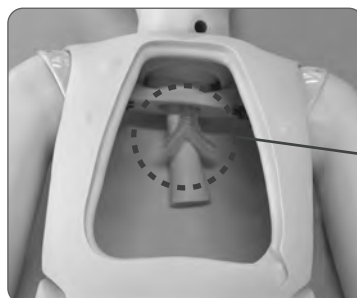


② 気管切開栓を取り付けます。



注意

.....  
推奨の気管切開チューブⅡは、取り外し時に潤滑剤を塗布した関係で、先端のキャップがチューブから外れて気管支内に残ってしまう場合があります。外れた場合は、モデル本体の胸蓋を外し、気管支内に残ったキャップを取り出し、水分等を拭き取って、改めて気管切開チューブに取り付けてください。



## 2 ストーマケア

人工肛門部のパウチ交換（ワンピース・ツーピース）やケアの実習が可能です。

別売品の模擬便（軟便）を使用して、より臨場感のある実習が可能です。



注意

.....  
模擬便（軟便）は乾燥するとすぐ固くなってしまいうため密閉できる容器に保管してご使用ください。

※ 模擬便は小麦粉粘土ですので、固くなってしまっても水分を含ませると柔らかくなりますので再度使用することは可能です。



### 1 直腸内与薬

別売品の模擬座薬を使用して、直腸内与薬の実習が可能です。



#### 《準備》

1. 性器ユニットに直腸部ボトルが取り付けられているか確認してください。
2. 実習の時は、必ず模擬座薬に付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）を塗布してから行ってください。直腸内与薬で使用する 模擬座薬は直腸部ボトルにたまる構造です。



#### 《後片付け》

1. 性器ユニットを本体から外し、それから直腸部ボトルを性器ユニットから外してください。性器部や直腸部ボトル・模擬座薬の汚れを中性洗剤等で洗い流してください。洗浄後は十分に乾燥させ、直腸部ボトルを性器部に取り付け、保管してください。模擬座薬はなくさないよう容器や袋に入れて保管してください。



注意

潤滑剤は付属の潤滑剤（導尿・浣腸・直腸内与薬用）をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

### 2 酸素吸引

酸素マスクと鼻カニューレを装着し、酸素吸入の実習が可能です。



### 1 CVポート留置時のケア

CV ポートを留置している人へのケアの実習が可能です。

- ・ドレッシング材での固定・交換
- ・留置時の清拭など

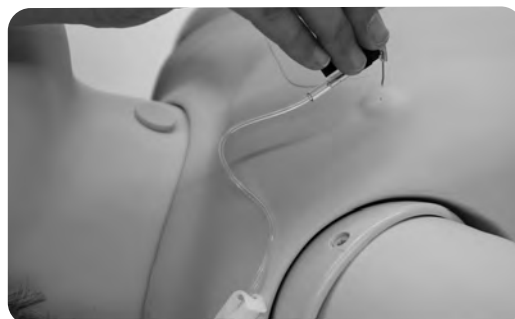
#### 《準備》

右胸部にあるポート部に、ヒューバー針を入れてください。

20G と 22G のヒューバー針をご使用ください。  
ドレッシング材で固定することができます。

#### 《後片付け》

使用した器具とテープは、実習後は必ず取り外してください。



注意

.....  
モデルやモデルに貼ったドレッシング材やテープにボールペンやサインペンで書き込みをしないでください。インクがモデルに吸収され消えなくなります。サインペン等で書き込みを行ったテープやドレッシング材をモデルに貼りこむのも避けてください。

消毒の実習を行う場合は消毒薬の代わりに水をご使用ください。

### 2 死後のケア

死後の処置として、まぶたを閉じる、耳や鼻、肛門部に綿を詰める実習が可能です。

#### 《まぶたを閉じる》

内まぶたの上端をつまみ、下方向へまぶたを下げます。

#### 《まぶたを開ける》

内まぶたの上端をつまんで、まぶたを開けます。



注意

.....  
綿は詰めすぎないようにしてください。

### 1 モデル本体の分解

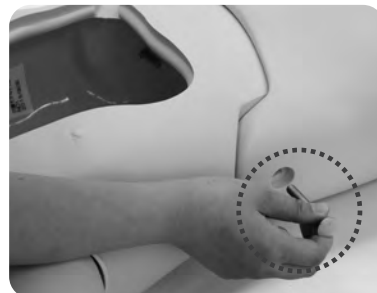
1. 衣服着用の場合は、衣服を脱がせ胸蓋を取り外し、腰部左右のボルトをはずします。  
ボディの内側でボルトを固定している2種類のナットをスパナでゆるめ、ボルトを抜き取ります。

※ ボルトは内部から押すとボディから外れます。

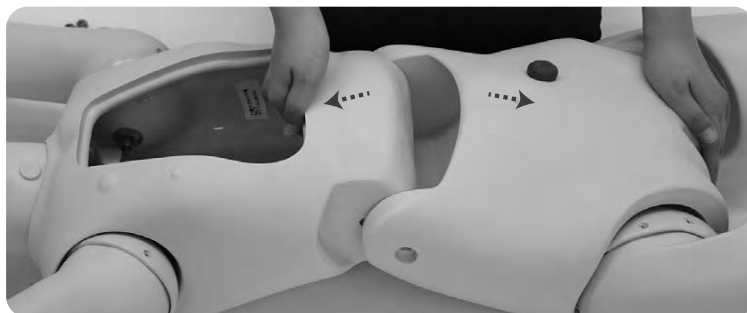


注意

.....  
ボルト2本、座金2個、2種類のナット各2個、スパナ1点はまとめてビニール袋に入れ、無くさないようにしてください。



2. 上半身と下半身を切り離してください。



### 2 収納箱への収納方法

1. 収納箱にビニールシートをかけ、下半身を収納箱に収めます。ビニールシートで下半身を包んでから、膝の下にまくら材を挟んでください。
2. 固定用の仕切り材を入れ、下半身を固定します。



注意

.....  
モデル本体がダンボールに直接触れないよう、ビニールシートでモデル本体を包んでください。モデルの樹脂成分でダンボールに染みができる可能性があります。

### ② 収納箱への収納方法

3. 中仕切り板を入れます。



4. 上半身の頭と腕に、ビニール袋をかぶせ、ビニールシートをかけた後、上半身を収納箱に収めます。



5. 上半身をビニールシートで包みます。



6. 上半身固定用の仕切り材を入れた後、頭部の両サイドに構成部品をそれぞれビニール袋に入れて収納します。



.....  
かつらは必ず頭部からはずして、手入れをした後でビニール袋に入れ保管してください。  
その他の構成部品（性器ユニット、口腔カバー、義歯、衣類、組立部品等）は、それぞれ別個にビニール袋に入れて保管してください。





## 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。  
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

### 交換部品 一覧

コード番号	部品名
11405-010	女性性器ユニット（ケイコ用）
11405-020	男性性器ユニット（ケイコ用）
11401-080	義 歯
11229-060	口腔カバー
11229-050	トレーニングモデル用潤滑剤
11381-800	潤滑剤（導尿・浣腸他用）



女性性器ユニット(ケイコ用)



男性性器ユニット(ケイコ用)



義歯



口腔カバー



トレーニングモデル用潤滑剤



潤滑剤（導尿・浣腸他用）

### 別売部品 一覧

コード番号	部品名
11404-030	洗髪実習用かつら（ケイコ用）
11405-030	パジャマ
12746-020	気管切開チューブⅡ
11251-320	模擬座薬（大・小）
11405-040	模擬便（軟便）
11229-070	模擬痰



洗髪実習用かつら(ケイコ用)



パジャマ



気管切開チューブⅡ



模擬座薬（大・小）



模擬便（軟便）



模擬痰

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



株式  
会社 **京都科学**

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>  
e-mail ● [rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp](mailto:rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp)

#### ■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地  
TEL: 075-605-2510 (直通)  
FAX: 075-605-2519

#### ■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号  
NREG本郷三丁目ビル2階  
TEL: 03-3817-8071 (直通)  
FAX: 03-3817-8075